

報道関係者各位

スカイライト コンサルティング株式会社

**スカイライト コンサルティング、ロシア(サンクトペテルブルク)ヴォストーチヌイ大学との
提携に合意**

～ ロシア進出を視野に入れ、人材交流を開始 ～

スカイライト コンサルティング株式会社(本社:東京都港区赤坂、代表取締役:羽物俊樹)は、ロシアへの将来的な進出を視野に入れ、ヴォストーチヌイ大学(ロシア連邦サンクトペテルブルク市、学長:コンスタンチン・エドゥアルドヴィッチ・フメレフスキー)と提携に向けて協議することで合意しました。

その一環として、2008年11月から同大学日本研究学科において最新の日本企業改革事例の講義を開始しました。また、2009年度から毎年同大学の学生・卒業生の若干名をインターンとして受け入れることを決定しました。

1. 背景

BRICsの一角を成す隣国ロシアの経済は、今後10年程度の長期的視野に立つと、ヨーロッパ・ロシア地域を中心に大きく成長すると期待されています。現在のロシア経済は天然資源に大きく依存する体質ですが、今後は一般企業とくに中堅・新興企業の成長が広く見込まれます。こうした企業の経営基盤を強化するため、ビジネス・コンサルティングのニーズは今後ますます増大するであろうと考えられます。

こうした中、スカイライト コンサルティング(以下、スカイライト)はロシアに注目し、ロシアへの事業進出を準備検討する段階にあります。ここでは、「日本語とロシア語の両方に堪能でロシア人のメンタリティを熟知しつつ、スカイライトのコンサルティング手法の経験を積んだ現地人スタッフ」を育成することが必要となります。

そこで、日本語と日本の文化・歴史に関する研究を行うサンクトペテルブルク(ヨーロッパ・ロシア地域北西に位置しロシア第二の規模をもつ都市)の大学であるヴォストーチヌイ大学と提携し、両国の文化的類似点と差異をよく研究している現地の若い人材をスカイライトにて育成するという手段が有効と考えました。

2. ヴォストーチヌイ大学での特別講義

提携の第一弾として、スカイライトの社会環境サービスグループ統括シニアマネジャーである佐藤幸作がヴォストーチヌイ大学の客員教授に就任し2008年11月から特別講義を開始しました。講義は日本研究学科の4年生と5年生のカリキュラムに組み込まれ、最新の日本企業改革事例に関して、毎年数回それぞれ1週間程度の集中講義として行われます。

これにより、同大学の学生は現代日本社会を学ぶうえで不可欠の要素である「企業社会」「企業文化」についての最新事情を日本人ビジネスマンから直接身につけることが可能となります。スカイライトへのインターンに関する説明も講義の中で行われます。

3. ヴォストーチヌイ大学からのインターン受入

特別講義を通して日本企業の経営実態について興味と知見を深めた同大学の学生または卒業生を、2009

年度からスカイライトがインターンとして受け入れます。

インターン期間は原則 1 年間とし、各年度若干名を受け入れます、ヴォストーチヌイ大学は優秀な学生または卒業生を推薦し、スカイライトのコンサルタントが候補者本人と面接して選考を行います。インターン第 1 期生の候補者はすでに決定しており、2009 年秋から 1 年間、ロシア市場についてのロシア語資料のリサーチやコンサルティング業務の補佐などに携わる予定です。

インターン期間が終了した後も、本人の能力と希望に応じて継続的にスカイライトの社員として登用し、ロシア進出のための準備スタッフとして働くことも可能としています。

4. 今後の展望

スカイライトはこのプログラムを数年間かけて数人～10 人程度のロシア人コンサルタント候補を育成し、ロシア進出時のコアメンバーとして養成していきます。

ロシアのビジネス・コンサルティング市場へのスカイライトの進出は、ロシアでの総合型コンサルティングサービスの発展に寄与し、ロシアの中堅・新興企業における経営管理の仕組み強化を通してロシアの産業インフラを進化させるために貢献すると考えています。さらに、その成果は日本企業にとって大きな機会を呼び込むことにつながると考えています。

今回の提携について、スカイライトの代表取締役 羽物俊樹は次のようにコメントしています。

「今回の提携を通して、ロシアの優秀な人材と交流する機会を得たことを大変嬉しく思います。本件は、スカイライトの海外展開構想を具体化させる大きな一歩であり、今後成長が見込まれるロシア経済に対し、スカイライトが貢献していくための足がかりとなるでしょう。ロシアの教育水準は日本や欧米と比較しても非常に高く、学生の論理的思考力や問題解決力は大変優れているといわれています。今回、日本文化と日本語の教育において実績のあるヴォストーチヌイ大学からインターンを受け入れることで、我々が培ってきた人材育成プログラムをそのまま適用することが可能となりました。この取り組みから優秀なコンサルタントが生まれ、文字通り日露両国の架け橋となることを期待しています。」

また、ヴォストーチヌイ大学の学長 コンスタンチン・エドゥアルドヴィッチ・フメレフスキーは次のようにコメントしています。

「日本のスカイライト コンサルティング株式会社との共同取り組みに参加する機会ができたことを嬉しく思います。今回の提携を通じて大学でもっと高いレベルの専門家を養成できるようになると考えています。将来ロシアの経済発展、経済成長のためにふさわしい貢献になります。また、日露交流、両国の相互理解を深めるための貢献になると考えています。」

-----会社概要-----

【スカイライト コンサルティング株式会社について】

スカイライト コンサルティングは、ビジネスと IT の知識を生かして経営課題の解決や新規事業の立ち上げを支援するビジネス・コンサルティング会社です。さまざまな専門分野のコンサルタントが、顧客企業の本質的な経営課題を解決するため、企画から実現、実行まで全てのステージにわたって最適なサービスを提供しています。顧客企業は一部上場企業からベンチャー企業まで多岐に渡り、幅広い産業で多数のプロジェクトを成功に導いています。

本社 : 〒107-0052 東京都港区赤坂 6-3-18 赤坂パークプラザ

代表者 : 羽物 俊樹 (はぶつ としき)
設立 : 2000年3月
資本金 : 182,000千円

社会環境サービスグループについて

次世代の社会を真に豊かで温かいものにすることを目指し、既存のコンサルティングサービスの枠にとらわれず、広く社会を対象としたさまざまな政策やプロジェクトを研究・企画・実践するグループ。現在の主な活動としては、児童福祉・地域活性化に関する政策提言のほか、公共部門の業務効率化に向けた民間活用や情報技術(IT)活用に関する支援、新規医療支援サービス事業企画・立ち上げなど。

詳細は、Web サイト(<http://www.skylight.co.jp/>)をご覧ください。

【ヴォストーチヌイ大学について】

ヴォストーチヌイ大学の前身は1988年、当時のソビエト連邦レニングラード市(現・サンクトペテルブルク市)に私立としてはソ連初の人文科学高等専門教育機関である高等人文科学学校(VGK)として設立されました。アジアの言語・文化の専門家養成を目的としてVGKに開設された東洋学部が直接の前身となります。1994年にはロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類・民族学研究所とロシア教育アカデミー教育大学の主導により、東洋学部がVGKから分離し、独立した教育機関であるヴォストーチヌイ大学として設立されました。現在、ヴォストーチヌイ大学にはアジア諸国の研究学科(アラブ諸国研究学科、インド研究学科、中国研究学科、韓国研究学科、日本研究学科)があり、さらにチベット・モンゴル研究学科、東南アジア研究学科、東洋文化学科の設立準備が行われています。ヴォストーチヌイ大学はロシアにおける東洋地域学専門家の養成と東洋研究の分野において活動を続けています。

所在地 : Tuchkov per., 11/5 St.Petersburg 199053, Russian Federation
学長 : Konstantin Eduardovich Khmelevsky
詳細は、Web サイト(<http://www.orientalinstitute.ru/>)をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ

スカイライト コンサルティング株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 6-3-18 赤坂パークプラザ
社会環境サービスグループ
担当 佐藤 幸作(さとう こうさく)
Tel. 03-3560-1480(代表) Fax. 03-5575-3580
e-mail: info@skylight.co.jp
URL: <http://www.skylight.co.jp/>